



「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

令和2年1月28日

「手づくり郷土賞」認定証伝達式を函館市で開催します

～「函館湾岸価値創造プロジェクトチーム」が一般部門を受賞～

令和元年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」（国土交通大臣表彰）の認定証伝達式を以下のとおり、函館市において開催します。

伝達式では、北海道開発局長から受賞団体（函館湾岸価値創造プロジェクトチーム）に認定証及び副賞の楯をお渡しします。（式次第は「別添1」参照）

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を「手づくり郷土（ふるさと）賞」（別紙「参考資料」参照）として表彰しています。

令和元年度は全国各地から応募のあった45件（一般部門38件、大賞部門7件）の中から、優れた取組として24件（一般部門20件、大賞部門4件）が選定され、一般部門で「函館湾岸価値創造プロジェクトチーム」が選定されました。（活動の詳細は「別添2」参照）

【認定証伝達式】

受賞件名：函館湾岸価値創造プロジェクト ～地域遺産を活用した地域再生の取組～

受賞団体：函館湾岸価値創造プロジェクトチーム（函館市）

日時：令和2年2月5日（水）13：45～

場所：函館開発建設部 4階災害対策室（函館市大川町1番27号）

※伝達式（認定証伝達・副賞贈呈）は公開で行います。取材を希望される方は、「別添3」の申込書により2月3日（月）17時までにお申し込み願います。

※取材される場合は、伝達式開始時間の5分前（13：40）までに会場にお越しください。

※記念撮影終了後に、受賞団体との取材時間をご用意します。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 課長補佐 新妻 憲嗣（内線5475）

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 木村 康一（内線5470）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和元年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」認定証伝達式

受賞件名 函館湾岸価値創造プロジェクト
～地域遺産を活用した地域再生の取組～

受賞団体 函館湾岸価値創造プロジェクトチーム(GRHABIP)

日 時 : 令和2年2月5日(水) 13:45～14:05
場 所 : 函館開発建設部 4階災害対策室
(函館市大川町1番27号)

1. 開 式
2. 認定証伝達・副賞贈呈 (北海道開発局長)
3. 挨拶 (北海道開発局長)
4. 閉 式
5. 記念撮影

函館湾岸価値創造プロジェクトチーム (GRHABIP)

①社会資本の概要

函館湾岸地域には、全国にも名前が知られる五稜郭、ベイエリア赤レンガ倉庫群などがありますが、そんなメジャーな観光地だけではなく、ほとんど知られていない魅力的な地域遺産がたくさんあります。その一つは日本のコンクリート品質管理技術発祥の地である

函館漁港船入潤防波堤。明治32年に完成し、100年以上経過した現在でも現役で機能しています。他にも、多発した大火に対する日本最古のコンクリート寺院や大型の銀行建築、防火線であった銀座通りの耐火建築群などのコンクリート建造物も数多く現存しています。



函館漁港船入潤防波堤
(北海道唯一の石積み構造の防波堤、コンクリートブロックとのハイブリット構造)



夫婦電柱 (現存する日本最古のコンクリート電柱)

②取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成27年に民産学官金によるプロジェクトチームを発足。まち歩きコンクリートツアーやバス見学ツアー、フォトコンテスト、各種シンポジウムの開催など積極的に取組を進めています。「コンクリート遺産ツアーマップ」や「函館湾岸コンクリート物語カード」の作成、コンクリートに関する小冊子を発行し、埋もれている地域資源の掘り起こしを進

めるとともに次世代への伝承を目指しています。また、地域の陶芸家とコンクリート工場の専門家がコラボレーションし、コンクリートを使ったペン立てや置物を製作する新たなものづくり体験プログラムを開発するなど、市民の地域資源学習ツールや新たな観光ビジネスとしての可能性を検証することができました。



函館湾岸コンクリート物語の小冊子



フォトコンテストを実施
受賞作品等でコンクリートカードを作成



コンクリートを使用したものづくり体験

③活動の成果や波及効果等

平成28年度から、JTBや地元の観光バス会社の協力を得て「函館湾岸コンクリート物語ツアー」を実施しています。

当初参加者はGRHABIPメンバーのみでしたが、一般募集のみでツアー定員40名に到達するようになりました。バスガイドと共にガイドマニュアルを作成し、ガイド3名を育成し、地域観光に貢献しています。

ツアーは3年連続で催行し、そのアンケート結果、女性の関心が高いことが示されたことから、女性目線による観光コンテンツの開発や情報発信手法を取り入れています。



ツアーの様子。右は試作品の函館湾岸コンクリート物語ラスク。
ツアー・フォーラム参加者に配布して好評を得て、実販売に。



喜びの声



<受賞者>
函館湾岸価値創造プロジェクトチーム
会長 布村 重樹

<コメント>
活動に賛同しご協力頂いた各方面の多くの方々のご支援のお陰で今回の名誉ある賞を頂き、皆様に感謝申し上げます。これをきっかけに埋もれたコンクリート遺産に少しでも光が当たる事を願います。インフラを陰で支えるコンクリートの役割と価値を人々の想いと共に、これからも更に紡いで皆様にお届けしていきたいと思っております。

<活動内容>
・函館湾岸コンクリート物語冊子を発行
・ボランティア清掃などを実施
・函館湾岸コンクリート物語ツアーやJTB日帰りコンクリートツアー造成支援などを実施
・地域マネジメント組織の育成、ガイドマニュアルの作成、ガイドの育成などを実施

<活動の経緯>
平成27年 プロジェクトチーム発足
以後、異分野の専門家をメンバーとして招き入れ拡大しながら活動を継続中

- ◆所在地
北海道函館市昭和3丁目23番1号 (株)ノース技研内
- ◆活動主体及び連絡先
函館湾岸価値創造プロジェクトチーム
事務局 山田かおり、対馬(つしま) 0138-43-6500
HP: grhabip.jp
- ◆対象となる社会資本
函館漁港入船間防波堤 等
※管理者: 北海道 等



北海道開発局 開発調整課 宛 (FAX 011-709-9215)

申込書（報道関係者）

令和元年度 手づくり郷土賞認定証伝達式

日 時：令和2年2月5日（水）13時45分～

場 所：函館開発建設部 4階災害対策室

受賞件名：函館湾岸価値創造プロジェクト

～地域遺産を活用した地域再生の取組～

受賞団体：函館湾岸価値創造プロジェクトチーム

氏 名

住 所

所属（会社名等）

連 絡 先

※ご提供いただいた個人情報は、令和元年度手づくり郷土賞認定証伝達式に関する連絡以外では使用しません。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和元年度で34回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和元年度）

委員長	鈴木 伸治	横浜市立大学国際教養学部 教授
委員	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究科 准教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー ／一般財団法人コレゾ財団 代表理事
委員	福井 恒明	法政大学デザイン工学部 教授 (敬称略)